

令和6年度  
雲南市  
特色あるふるさと教育事例集



令和7年3月

# 令和6年度 特色あるふるさと教育事例集

1	大東小学校	4年	総合的な学習の時間	赤川ホテルについて知ろう
2	西小学校	3年	総合的な学習の時間	みんなにやさしい私たちの町
3	佐世小学校	5年	総合的な学習の時間	米プロジェクト
4	阿用小学校	4年	総合的な学習の時間	川と遊び川に学ぶ ～ふるさと阿用川～
5	海潮小学校	3・4年	総合的な学習の時間	「簸の上園」の利用者さんと交流しよう
6	加茂小学校	2年	生活科	町たんけん 出かけよう！かもたんけんたい
7	木次小学校	3年	総合的な学習の時間	ヤマタノオロチ伝説 ～わたしたちの市のじまん～
8	斐伊小学校	1年	生活科	たのしい あき いっぱい
9	寺領小学校	3年	総合的な学習の時間	雲南 おたから発見団
10	西日登小学校	1・2年	生活科	にしひのぼりとなかよくなろう
11	三刀屋小学校	6年	総合的な学習の時間	平和について考えよう
12	鍋山小学校	3・4年	総合的な学習の時間	地域に笑顔と元気を届けよう！ 「ちょんてご交流会」
13	吉田小学校	5・6年	総合的な学習の時間	吉田の自然を生かしたものづくりをしよう～小だたら操業～
14	田井小学校	3・4年	総合的な学習の時間	深野神楽の秘密
15	掛合小学校	2年	生活科	掛合町たんけん
16	大東中学校	1年	総合的な学習の時間	雲南市探究学習
17	加茂中学校	1年	総合的な学習の時間	雲南市探訪
18	木次中学校	1年	総合的な学習の時間	地域（ふるさと）探訪
19	三刀屋中学校	3年	総合的な学習の時間	三中ハッピープロジェクト ～地域の幸せのために自分たちができること～
20	吉田中学校	全学年	総合的な学習の時間	吉田の芸能を体験しよう
21	掛合中学校	3年	総合的な学習の時間	町おこしイベント 「つながる掛合の輪!! ～地元伝える“だんだんね”!～」

学校名	雲南市立大東小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源（ひと・もの・こと）
4	総合的な学習の時間	赤川ホタルについて知ろう	地域の自然、地域の人
ねらい		赤川ホタルについて調べる活動を通して、地域の環境や地域の人思いについて考える。	

**1 取組の概要**

探究的な学びの授業実践

赤川ホタルの学習を中心に行う4年生において、ホタルを題材とした「探究的な学びの3サイクル」を展開した。

探究的な学びの3サイクル

探究的な学びのサイクル	実施時期	各サイクルの単元の「学習課題」
第1サイクル	5~7月	「ホタルってどんな生きもの？」（18時間）
第2サイクル	9~10月	「なぜ赤川にはホタルがたくさんいるの？」（14時間）
第3サイクル	10~11月	「ホタルの住める赤川を守る作戦を考えて伝えよう！」（18時間）

**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために**

どのような意図をもって活用したか。

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

「赤川にホタルがたくさんいることは当たり前ではない」という視点をもたせ、ホタルを守り育ててきた地域の人存在に気付かせ、自分たちも守り育てる活動に関わりたいという意欲がもてる展開を考えた。

（学力育成の視点から）

上記の「探究的な学びの3サイクル」に基づき課題解決的な学習を心がけた。

**3 児童に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）**

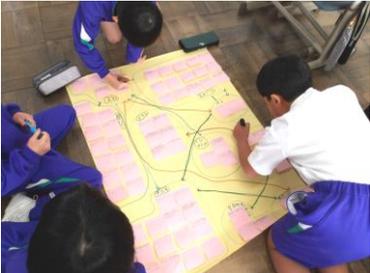
（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

ホタルを守り育てる活動に自分たちも関わったことにより、ふるさとへの誇りやこれからも地域の自然を守っていききたいという意欲の高まりがみられた。

（学力育成の視点から）

課題解決的な学習を通して、ホタルに対する知識が増えたばかりでなく、思考力や判断力、学びに向かう力の高まりがみられた。



学校名	雲南市立西小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	「みんなにやさしい私たちの町」	社会福祉協議会・幡屋地区振興会
ねらい		地域や地域福祉について自ら考え気付くこと、地域の方の話をきくことを通じて、地域や地域福祉へ関心を持つことができるようにする。また、それを通して自分がしたいことやできる地域福祉について考えを深める。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>○地域状況について、自ら考え気付くことで地域や地域の福祉に関心を持つ。また、地域の方から話を聞き、地域や地域福祉活動について知り、自分たちに出来ることや、したいことを考え、まとめていく。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域状況や地域で重点的に取り組まれている福祉活動等を知り、地域や地域の福祉活動について興味や関心を持つ。そこから、自分たちに出来ること、したいことを考え、ふるさとへの愛着や誇りをより高める。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料やデータを読み取り、地域の変化などを考える。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域状況や福祉活動を知り、「地域の人にあいさつをする」「地域の活動に参加する」「地域のためにゴミ拾いや掃除をする」「地域の人とたくさんお話する」など様々な自分たちに出来ることを考えた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちに出来ることについて、ラベルワークを行い、考えた内容をグループ化したり、関係づけを行ったりした。</li> <li>・様々な資料やデータを読み取り、地域の変化を考えた。</li> </ul>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			

学校名	雲南市立佐世小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	総合的な学習の時間	米プロジェクト	米作りの工夫を学ぶ(地域の米作り農家、JA農業普及員)より縄作り(錦織琢朗、岡田伸、川島朝子)収穫した米を使って味噌づくりをする。(じねんにみそ:田中恭子)
ねらい	学校近くの田んぼで田植えや稲刈り等の体験をとおして、お米作りをする方の工夫や苦勞を学んだり、地域の方の温かさに触れたりすることで、佐世地域への愛着を高める。		

**1 取組の概要**

- (1) 小学校近くの稲作農家で稲の種まきの様子を見学する。
- (2) 稲作農家の方やJAの方に指導してもらいながら田植え体験を行う。
- (3) 地域の方に教えてもらいながらよりない体験を行う。
- (4) 稲作農家の方やJAの方に指導してもらいながら稲刈り体験を行う。
- (5) 稲作体験で学習したことを、学習発表会で発表する。
- (6) 収穫祭(おにぎり、みそ汁づくり、調べて分かったことを発表する。)を行う。

**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- 地域の方と触れ合いながら田植えやよりない、稲刈り等の体験をすることで、地域の方の温かさや佐世地域のよさに気づき、大切にしていこうとする態度を養う。



**(学力育成の視点から)**

- 米作りについての体験をとおして学んだことやこれからの米作りについて考えたこと、米作りの歴史について調べたことをグループごとにパワーポイントにまとめる活動をとおして必要な情報を集めたり選んだりし、まとめる力を高める。
- 調べたことを劇にして発表することで、相手意識をもって話したり表現方法を工夫したりする等表現力の向上をめざす。



**3 児童に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- 佐世地域での米作りに関わっておられる農家の方やJAの方の米作りへの思いを学ぶことで、ふるさとへの愛着が高まった。

**(学力育成の視点から)**

- グループで調べたことを分かりやすく表そうと工夫する姿が見られた。
- 劇で発表する活動を通して、聞く人に向けて分かりやすく伝えるようにしようとする意識を高めることができた。

学校名	<b>雲南市立阿用小学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合	川と遊び川に学ぶ ～ふるさと阿用川～	地域の人材、雲南市水道局 島根県環境保健公社 交流センター他
<b>ねらい</b>		身近な阿用川の調査や体験活動を通して、ふるさと阿用（大東）に誇りや愛着をもち、主体的に考え行動できる児童を育てる。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>(1) 阿用川を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①イメージマップを使い、川について知っていることを書く。</li> <li>②川の役割について、インターネットを使って調べる。</li> <li>③阿用川の探索に行く。（遠距離導水管、塩田ダム、すくも塚、赤川との合流点）</li> <li>④阿用川の水質調査を行う。</li> </ul> <p>(2) 学んだこと、考えたことを発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①調べて分かったことや考えたことをまとめる。</li> <li>②学年発表で全校の前で発表し、全校児童や保護者に発信する。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿用川に関わる先人の功績や施設について学ぶ際、見学場所では、各分野における専門家に話をしてもらった。</li> <li>・阿用川の水質調査には、島根県環境保健公社や地域交流センターなど専門の方に来ていただき、子どもたちの疑問を解決しながら活動を進めた。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「調べてみたい」「もっと知りたい」と思えるような素材を開発したり、「楽しそう」と思えるような出会いの場を作ったりすることで、児童は意欲的に活動に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学や調査を通して阿用川に対する関心が高まり、日常の話題にもよくあがるようになった。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を人に伝える（発信する）ときに、何を伝えるか、どのような形で伝えるかを話し合い、劇化して発表した。塩田ダム、川の合流点、水質調査の結果について、資料を示しながら発表することができた。「学年発表」という保護者も来校する場で発信することができたので、児童の意欲もさらに高まった。</li> </ul>			



学校名	雲南市立海潮小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4	総合的な 学習の時間	「簸の上園」の利用者さんと 交流しよう	特別養護老人ホーム「簸の上園」
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉についての話を聞き、利用者の方の気持ちを知る。</li> <li>・「簸の上園」の利用者の方と交流する。</li> <li>・自分たちにできる福祉について考え、実践する。</li> </ul>	

1 取組の概要

- (1) 特別養護老人ホーム「簸の上園」の方から施設についての話を聞き、どのような施設であるかを知る。
- (2) 施設利用者の方のために、自分たちができることを考え、交流の計画を立てる。
- (3) 実際に簸の上園の方と交流する。
- (4) 地域のため、学校のため、学級のためという視点から、自分たちにできる「福祉」を考えて実践する。
- (5) 単元のふりかえりをする。



簸の上園の送迎で使用されている福祉車両に利用者さんの気持ちで体験しました。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- (1) 施設の方から学ぶ場・利用者の方と関わる場の設定
  - ・「簸の上園」の施設で働く方から、施設の説明を受けたり、利用者の方のために工夫されていることを聞いたりして、身近にある高齢者施設についての愛着や誇りを高めることができるようにする。
  - ・簸の上園の利用者の方と交流することで、高齢者との関わり方を考えることができるようにする。
- (2) 相手意識をもって人と関わる
  - ・地域のため、学校のため、学級のためという視点から、自分たちにできる「福祉」を考えて実践する。



簸の上園のみなさんにリコーダーやダンスを見てもらって交流しました。

(学力育成の視点から)

- ・利用者さんと交流する場を設け、子どもの表現力とコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・計画した「自分たちにできる福祉」を学級掲示することで見通しをもって準備する力を伸ばす。

3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- (1) 児童のふりかえりから、身近な施設である簸の上園に親しみを感じ自分の祖父母や家族に対してもゆっくり話すなどの関わり方を見直す子どもが増えた。
- (2) 学校のためにできる福祉として低学年への読み語りをしたことで、低学年と関わる機会が増えたり、低学年の手本になろうとトイレのスリッパをそろえたりする姿が見られるようになった。

時期	内容
11月	野菜の引き・草めき 簸の上園について知る 古布を集めるお知らせ(児童と保護者へ) 漬物方面のごみ拾い 図書館の本棚の掃除 学習発表会 学校の掃除(掃除してもらいたい所のアンケート)
12月	野菜のしょうかく・販売 簸の上園との交流 12/17 (6年生と) 野菜の売上金の使い道計画
1月	交流センター周辺のごみ拾い・草めき 低学年に読み聞かせ (雪かき) 集めた古布をわたす
2月	学校の掃除 (雪かき) 学校の掃除
3月	6年生への感謝の手紙 6年生を語る会 協力して勉強する 返事や反応をする あいさつする ごみを落とさない・捨てる 今後 笑顔で過ごす ずっと 友達となかよく 仲間や約束を守る

計画を掲示し、実施したら花丸をつけて視覚化。

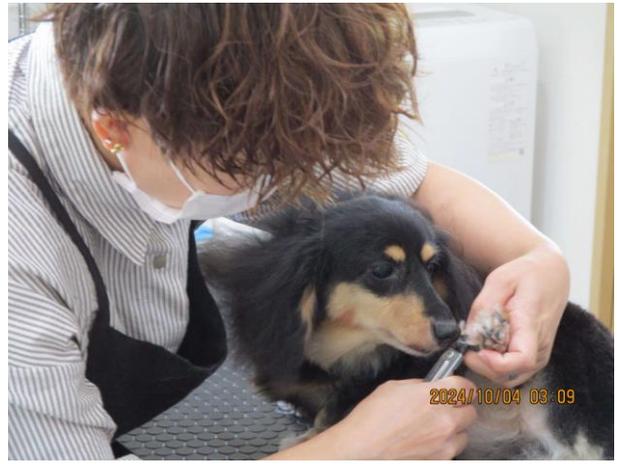
(学力育成の視点から)

- ・ 籓の上園の利用者との交流を通して、相手意識をもって相手にわかりやすく伝えることを意識しながら発表することができるようになった。
- ・ 低学年への読み語りでは、低学年の子が楽しめるような本選びや、見えやすい本の持ち方、聞きやすい読み方などができるようになった。



低学年とのやりとりを楽しみながら読み語り。

学校名	<b>雲南市立加茂小学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活科	町たんけん 出かけよう！かもたんけんたい	加茂町のお店、薬局、駐在所、保育園、郵便局、図書館、支援センター等
<b>ねらい</b>		自分たちが住む地域の施設や店を探検し、町や地域のよさを発見する。町探検でお世話になった地域の方々に感謝の気持ちを表す。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分たちが見つけた加茂の町のよさの中から、知りたいことについて質問を考える。</li> <li>2) 探検に行った時のあいさつや質問の仕方を練習する。</li> <li>3) 自分たちの住む加茂の町の施設や店を探検して、町や地域のよさを発見する。</li> <li>4) だんだんフェスティバルに向けて、グループで発表する内容をまとめたり練習したりする。</li> <li>5) だんだんフェスティバルにお世話になった地域の方を招待して、学んだことを劇やクイズ、インタビュー形式などで発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする。</li> </ol> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域の施設や店を訪問し、実際に働いている方々のお話を聞いたことは、児童が地域の「ひと・もの・こと」への理解を深めることにつながった。また、だんだんフェスティバルや発表会で感謝を伝え、地域の方に喜んでいただけた。</li> <li>2) 自分たちが学習した内容の発表の場の設定 だんだんフェスティバルで、自分たちの見つけた「ふるさとのよさ」を多くの人に知らせたり、地域住民との対話を通して「ふるさとのよさ」を共有したりすることで、子どもたち一人一人がふるさとへの愛着や誇りを高めることができるようにする。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「ふるさとのよさ」を伝えるために適切な方法を整理・分析する。 調べた情報をまとめ、伝える相手を意識しながら「ふるさとのよさ」をポスターにまとめることができるようにする。</li> <li>2) だんだんフェスティバルでの発表を通して、子どもたちの表現力の向上をめざす。 自分たちが見つけた「ふるさとのよさ」を発表したり、地域の方や保護者と対話したりすることを通して、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができるようにする。</li> </ol> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習後の感想から、地域への興味・関心をもち、地域の人々のあたたかさを感じている子どもたちがたくさんいた。</li> <li>2) 自分たちが調べた名所や特産、そこで出会った人について、家庭でも話す姿が見られたという保護者の声があった。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 探検先へのインタビューを通して、分かりやすく質問したり、大事なことを記録したりするなど、話すこと・聞くことのできる力の定着につながった。</li> <li>2) 自分たちがまとめた「ふるさとのよさ」を発表する時に、相手に分かりやすい伝え方を意識しながら発表する姿が多くみられるようになった。</li> <li>3) 子どもから、「もっと多くの人にふるさとのよさを広めていきたい」という思いがみられた。</li> </ol>			



学校名	<b>雲南市立木次小学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	<b>総合的な学習 の時間</b>	ヤマタノオロチ伝説 ～わたしたちの市のじまん～	ヤマタノオロチ伝説の伝承地 観光ガイドさん
<b>ねらい</b>		ヤマタノオロチ伝説について調べることを通して、ふるさとに愛着や誇りをもつ心を養う。	
<b>1 取組の概要</b>			
(1) 課題設定 地域の観光マップを見て、ヤマタノオロチ伝説の伝承地がたくさんあることに気づき、探求したい課題を設定する。			
(2) 情報収集 パンフレット、本、インターネット等を使って、ヤマタノオロチ伝説や伝承地について調べる。観光ガイドさんに案内してもらいながら、伝承地の見学をする。			
(3) 整理・分析 調べた情報を整理し、どの情報をまとめるのかを決める。			
(4) まとめ・表現 ヤマタノオロチ伝説についてまとめたことをたくさんの人に知ってもらおうというめあてをもち、調べたことを劇や表現運動で他学年の人や家の人、地域の人に伝える。			
<b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>			
(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)			
雲南市には、ヤマタノオロチ伝説の伝承地や、伝説を継承し続ける神楽がたくさんあるが、ヤマタノオロチ伝説についてどのような場所であるのかは知らなかった。パンフレットや本、インターネットを使ってグループで調べた後、みんなで発表し合って共有した。そして実際に地域の観光ガイドさんに伝承地を案内してもらい、話を聞くことで、さらに関心が深まり、地域への愛着や誇りをもつことへとつながった。			
			
(学力育成の視点から)			
実際に見学に行く前に、事前の学習として小グループで情報収集したり整理してパワーポイントを使ってまとめたりした。児童が話し合いながら調べたことを整理したり、友達にわかりやすく伝えるためにパワーポイントを使ってまとめたりすることはとても大変だったが、自分たちで協力してできたことはとてもよい経験になった。			
<b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>			
まとめの活動や振り返りの様子から、雲南市にはヤマタノオロチ伝説の伝承地がたくさんあることを知り、自分たちの地域に誇りをもち、これからも地域を大切にしていきたいと感じた児童が多く見られた。また、自分たちで調べる力、整理してまとめる力が付いた。			
今回、学んだことを学習発表会の場で表現した。児童からぜひたくさんの人にヤマタノオロチの学習を伝えたいと強い要望があった。自分たちが調べたことを劇やクイズで表現したり、ヤマタノオロチの荒々しさを表現運動で伝えたりすることができたので、児童の自信につながったり表現力の高まりにつながったりしたと思う。			

学校名	雲南市立斐伊小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	たのしい あき いっぱい	・学校や地域にある公園 ・校区内の保育園・こども園の年長児
ねらい		秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や季節の変化に気づき、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。	

**1 取組の概要**

- 1) 校庭にある秋を見つける。
- 2) 公園で秋を探す。
- 3) 見つけた秋のものを使って遊ぶ。
- 4) 秋のことを伝える。
- 5) 秋のおもちゃを作って遊ぶ。
- 6) 園児と一緒に遊ぶ。



**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。  
(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- 1) 秋のものを使って、一緒に楽しむ場の設定  
校区内の保育園・こども園の年長児を招待する機会を意図的に設けることにより、相手意識をもちながら活動できるようにする。
- 2) 地域の公園に出かけて秋を楽しむ  
身近でありながら、児童が気づいていない学習材(もの・こと)を教材化したことにより斐伊の町を知るきっかけを作る。

**(学力育成の視点から)**

- 1) 斐伊の自然を活用するために、遊びを工夫する。  
実際に公園に行き、見つけた秋のものを使って遊べるものを作るようにする。
- 2) 校区内の保育園・こども園の年長児と関わる場を設け、相手を意識した活動ができるようにする。
- 3) 話し合いを通して、おもちゃの改良を重ねたり活動内容を変更したりして、活動を深めるようにする。

**3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- 1) 公園や神社など、地域のことに目が向けられるようになった。
- 2) 「もっと秋のものを見つけない」という思いから、地域で秋見つけをする家庭が増えた。

**(学力育成の視点から)**

- 1) 交流するとき、園児を意識して接する姿が見られた。
- 2) 話し合いを重ねることで、活動を良くしようという意見が多く出されるようになった。

<p>学校名</p>	<p>雲南市立寺領小学校</p>		
<p>学年</p>	<p>主な教科等</p>	<p>主に関わる単元名</p>	<p>活用した教育資源 (ひと・もの・こと)</p>
<p>3</p>	<p>総合的な学習 の時間</p>	<p>雲南 おたから発見団</p>	<p>学校葡萄園 奥出雲葡萄園 日登牧場 木次乳業 地域の方</p>
<p>ねらい</p>		<p>ぶどう栽培の体験や、地域の食の専門家の方の話を聞いたり、見学をしたりする活動を通して、ふるさとの食に興味をもち、ふるさと愛着をもてるようにする。</p>	
<p><b>1 取組の概要</b></p>			
<p>1) 学校のぶどうの栽培をする。 2) 奥出雲葡萄園、日登牧場、木次乳業の見学をする。 3) 見学で分かったことをまとめたり、劇で発表したりする。 4) 1年間の学習を振り返り、地域の方に伝えたい食について各自でまとめ、「ありがとうの会」で感謝の気持ちを伝える。</p>			
<p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために</b></p>			
<p><b>どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p>			
<p>1) 自分たちが捉え、学んだ「寺領の食」を伝える場の設定 「寺領っ子発表会」や「ありがとうの会」などで、多くの人に知らせ、子どもたち一人一人がふるさとへの愛着や誇りを高めることができるようにする。 2) 寺領の様々な食に関わる「ひと・もの・こと」と意図的に関わらせる場の設定 見学の場で「ひと・もの・こと」に触れるだけでなく、自分たちでも寺領の食(素材)を使って調理したり、試食したり、さらに調べたりすることで、寺領の食に関わる様々な人の想いを実感的に捉えたり、児童の興味・関心を高めたりすることができるようにする。</p>			
<p>(学力育成の視点から)</p>			
<p>1) 相手意識を持った成果発表の場を設け、表現力の向上を目指す。 自分が学習した中で感じたことや分かったことを学習発表会で劇化し、保護者や地域の人に伝えることにより、相手意識をもって表現することができるようにする。 2) 必要な情報を集めたり、自分の学習を振り返ったりする探究的な学びの力を養う。 ぶどう栽培で困った「体にやさしい害虫対策」「ぶどうの色づきと生育環境の関係」など、専門家に積極的に質問し、情報を整理し、振り返りカードにまとめ、「ありがとうの会」で発表する。</p>			
<p>また、社会科と関連させ「ぶどうの流通」についてまとめ、ぶどうの収穫量が少なかった年の収入と支出(資材・肥料等の購入)について考え、生産者の苦労に共感し、働くことの厳しさや大切さを実感できるようにする。</p>			
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 100%;"> <p>来年のぶどうさいばいに必要な物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニール・ひも・ほねぐみ</li> <li>・化学ひりょう・牛ふん・けいふん</li> <li>・酢(1000倍にうすめる)スプレー</li> <li>・ふくろかけのふくろ</li> <li>・鳥よけあみ・かかし・キラキラテープ など</li> </ul> </div> </div>			



- 来年のぶどうさいばいに必要な物

  - ・ビニール・ひも・ほねぐみ
  - ・化学ひりょう・牛ふん・けいふん
  - ・酢(1000倍にうすめる)スプレー
  - ・ふくろかけのふくろ
  - ・鳥よけあみ・かかし・キラキラテープ など

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

寺領には誇るべき食があることを認識し、「もっと地域に伝えたい」という願いをもって意欲的に発表会で伝えたり、生産者さんへの尊敬の気持ちを抱いたりすることができた。

（学力育成の視点から）

ぶどうや牛の病気、ぶどうの色づきのひみつ、生乳の低温殺菌のひみつなど、自分で課題を見つけ、探究的に学ぶことができた。また、劇化に向けて、「おたから」をキーワードに自分たちで大切なセリフを選んで心を込めて言ったり、動きを工夫したりした。主体的に活動を進め、堂々と表現することができた。学習全体を通して「寺領の食」について、振り返り、今後の学習に役立てようという意欲をもった。



学校名	雲南市立西日登小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1・2	生活	にしひのぼりとなかよくなるろう	地域住民 交流センター
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方からそばの育て方を教わり、年間を通して一緒に活動することで、地域の方の思いに気づいたり、地域への愛着をもったりすることができる。</li> <li>・そばを育てたり、そば打ちを体験したりすることで、大変さや苦労を味わうことができる。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) そばの種まきをする。(9月上旬)</li> <li>2) そばの観察をする。</li> <li>3) そばの実を収穫する。(11月中旬)</li> <li>4) そばの実を取り出す。</li> <li>5) そば打ち体験をする。(1月下旬)</li> </ol> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「もの」「ひと」に関わる場の設定 地域の方からお借りした畑に出かけ、種まきから収穫までを行った。身近な食べ物であるそばについて、自分たちの手で作ることができることを知ったり、暑い中で様々な作業をしないといけない大変さを味わったりすることができた。また、年間を通して同じ方々にお世話になり、そばを一から作り上げることができるすごさを目の当たりにしたことで、地域の方への尊敬の気持ちをもつことができた。</li> <li>○「ふるさとのよさ」に気づく 西日登には、そばが育つ場所があったり、「そば名人」である地域の方々がたくさんおられたりすることを知ったことで、ふるさとへの愛着や誇りをもつことができた。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶ意欲の向上を目指す 生活科の時間に畑へ出かけ、そばの観察をした。日に日に大きく成長していく様子を、様々な視点から観察することができた。何人かで協力し、定規を組み合わせてそばの高さを測るなど、さらに詳しく知りたいという気持ちをもって取り組んだ。</li> <li>○学習を振り返る そば学習を通して知ったことや気づき、地域の方への思いなどを、手紙に書くことで学習を振り返った。</li> </ul>			

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- ・学習後の感想やお礼の手紙から、そばができる場所や地域の方々を「ふるさとのよさ」として認識し、地域への興味・関心をもつ児童が増えた。
- ・そば打ち体験後には、作ったそばを地域の方と一緒に試食したことで、様々な会話を交わしながら楽しく交流する姿が見られた。

（学力育成の視点から）

- ・観察の視点が、色や大きさ、形だけでなく、高さや重さ、細かい部分の形（模様）などに広がった。
- ・次にある工程や地域の方と一緒に活動する日を楽しみにしたり、自分たちなりに考えて活動したりするなど、主体的に取り組もうとする姿が見られた。



学校名	雲南市立三刀屋小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習 の時間	平和について考えよう	地域の人、歴史、社会
ねらい		平和のために自分ができることを課題とし、平和の大切さや、戦争の恐ろしさを伝えることができる。	

**1 取組の概要**

- ① 先の戦争での原爆、広島や長崎の被害、永井博士の功績などを調べ、実際に広島市を訪れて平和について学んだ。
- ② 調べたことをもとに、国語の学習活動において平和作文、平和に関する本の紹介活動に取り組んだ。
- ③ 学習発表会で三刀屋太鼓による「平和を」という曲を演奏するために、地域の太鼓指導者の方々に指導していただき、練習に取り組んだ。

**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- ・広島平和記念資料館の見学や、実際に体験された戦争の講話などを通して、戦争は身近に起こったことという実感をもたせ、その中で平和を求めて死ぬ間際まで活動をつづけた永井隆博士の生きざまから、ふるさとへの誇り、平和を願う心をもつことができるようにする。

**(学力育成の視点から)**

- ・自分が学んだことを発信するために適切な方法でまとめたり、自分の考えを表現したりできるようにする。

**3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- ・学習後の感想から、平和の大切さや自分はどうかについて考える児童が増えた。

**(学力育成の視点から)**

- ・様々な場所に見学に行き、ガイドさんや伝承者の方と触れ合うことで、自ら堂々と質問したりわかりやすく考えを伝えたりする児童が増えた。



学校名	雲南市立鍋山小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4	総合	地域に笑顔と元気を届けよう！ 「ちょんてご交流会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の高齢者</li> <li>・ ちょんてごスタッフ（地域在住の医療従事者中心のボランティア）</li> <li>・ 鍋山交流センター</li> </ul>
ねらい		地域に住む高齢者との関わりを通して、地域への愛着を深めるとともに、地域の一員として自分にできることを考える。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 昨年度の交流活動について4年生が3年生に伝え、今年度探求したい課題を話し合う。</li> <li>2) 主催者（ちょんてご代表中村さん）の想いや願いを聞き、参加者の方のニーズに合った交流会を計画する。</li> <li>3) 図書館やタブレット等を使用し、交流会の準備をする。</li> <li>4) 参加者やスタッフの方から感想や助言を聞いた上でふり返しを行い、改善策を考え、次の交流会の計画を立てる。</li> <li>5) 学習したことを「なべっ子発表会」で全校児童や保護者・地域の方に伝える。</li> </ol> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもたちにとって身近な存在のはずの「ちょんてご」であったが、「ちょんてごって一体何？」という素朴なつぶやきが出たことから、代表の中村さんとの出会いに繋がった。中村さんのお話を聞くことを通して、地域への想いを知り、生き方に触れることができるようにした。</li> <li>2) ちょんてごスタッフの方の話を聞くことで、地域に住む高齢者への関心を高め、相手意識と目的意識をもった活動を考えることができるようにした。</li> <li>3) 複数回の交流を計画することで、活動の内容や参加者の方との関わり方等を工夫・改善しようという意欲を高めることができるようにした。</li> <li>4) 毎回の交流会の最後にふり返りの時間を設け、参加者の方やスタッフの方全員から直接アドバイスや感想をいただくことで、客観的な視点で自分たちの活動のふり返ることができるようにした。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 交流活動において、少人数グループで時間をかけて関わることで、相手の気持ちを察したり、相手に伝わる説明の仕方やコミュニケーションの取り方について考えたりすることができるようにした。</li> <li>2) スタッフの方や参加者の方の意見をもとに、児童主体で課題を整理し、工夫・改善をすることができるようにした。</li> </ol> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中村さんに教えていただいた、「笑顔になる活動」「筋肉を無理なく動かす活動」となるように、自分本位でなく、常に相手意識と目的意識を常にもって活動を進めることができた。もっと喜んでもらいたい、もっと笑顔になってもらいたいと熱心に準備する様子が見られた。</li> <li>2) 参加者（地域の高齢者の方）と一緒に活動を楽しんだ体験と、自分たちが企画した活動に対しての率直な意見や感想や称賛をいただいたことから、地域の人や施設に対する親しみの気持ちをもつ児童が増えた。</li> </ol>			



**カルタ**



**じゃんけん自己紹介**



**ジェスチャーゲーム**



**福笑い**

3) 交流会についての率直な意見をもらい、前回と比較して成長した点等を褒めていただくことで達成感と感じたり、次回への意欲を高めることができた。

4) スタッフの方や高齢者の方と対面し、対話を重ねることで、顔や名前を覚えて親しみの気持ちをもったり、協力していただいたりしたことへの感謝の気持ちを高めたすることができた。



**参加者・スタッフの方とのふり返り**



**会場を出る時はいつもハイタッチ**



**(学力育成の視点から)**

- 1) 交流会を通して、相手の立場を考えた関わり方（言葉、話す声の大きさや速さ、目線、しぐさ等）や分かりやすい説明方法（拡大図を用意する、模範の劇をする等）を自分たちで工夫できるようになった。他グループの友達からアドバイスをもらい、互いに工夫・改善をすることができた。
- 2) 児童主導で活動を進めてきた。失敗から学び、仲間と知恵を出し合って改善してきた。参加者の方やスタッフの方からほめられ、成功を感じる体験を重ねたことで、課題解決への意識に高まりが見られた。他教科でも主体的に課題を解決しようとする姿が見られるようになった。

学校名	雲南市立吉田小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5・6	総合	吉田の自然を生かしたものづくりをしよう～小だたら操業～	鉄の歴史博物館・菅谷の高殿・和鋼生産研究開発施設・鉄の歴史村地域振興事業団（小林さん）等
	ねらい	吉田の自然を生かした産業である、たたら体験を通して、吉田の自然・受け継ぐ人のよさ、町を支える大きな産業であったたたら的重要性について気づく。	

**1 取組の概要**

- 1) 砂鉄採り、鉄穴流し、小だたら操業（炉づくり・けら出し）、小刀づくり、焼き入れ等の体験を通して、自分の課題（疑問）について学び、まとめる。
- 2) 分かったことや考えたことについて、新聞にまとめたり、発表会を開いたりして発信する。

**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- 1) たたらという「もの」「こと」に実際にふれる体験活動の設定  
吉田の伝統的な産業に対する愛着や誇りをもたせるために、たたら操業の一連の作業を実際に体験させてもらった。また、なぜたたら操業が吉田で盛んに行われていたのか、地域講師の話聞かせてもらうことで、吉田の恵まれた資源に気づくことができるようにした。
- 2) たたらに関わる「ひと」と意図的に関わらせる  
ふるさとへの貢献意欲を高めるために、体験を通して鉄を作ることへの苦労を知った上で、現在もたたら操業を大切に受け継いでおられる方の思いを聞いたり、作業を見たりする場を設定した。また、どうすれば今後もたたらを守っていくことができるか考える時間を設けた。

**(学力育成の視点から)**

- 1) 地域での体験活動を通して、学ぶ意欲の向上を目指す  
地域で昔から行われてきた伝統的な産業を体験し、それに関わっておられる方と会話することで、「もっと知りたい」「調べたい」という思いを高め、学ぶ意欲の向上を図った。
- 2) 「ふるさとのよさ」を発信するために、適切な方法を選んで表現する力の向上を目指す  
体験活動による学習の成果を、タブレットを使って新聞にまとめ、校内に掲示することで、保護者や下学年に分かりやすく伝えた。また、2月に発表会を計画し、地域や保護者の方に学習の成果を見ていただいた。クイズや動画などを用いて、相手に分かりやすく伝える力を身に付けた。



3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- 1) 体験活動をただ楽しむだけでなく、伝統を引き継いで来られた方の思いやその尊さに気づき、地域への愛着が深まった。
- 2) 活動を進める中で、たたらをなぜ大切にしていきたいのか、それぞれが自分の考えをもつことができた。また、地域を守っていくために自分ができるようなことを考える児童の姿も見られた。

（学力育成の視点から）

- 1) 自分たちが体験したり、話を聞いたりして分かったことを、相手に分かりやすく伝える力が身に付いた。
- 2) 地域講師に積極的に質問をするなど、主体的に調べようとする子どもの姿が見られた。



学校名	雲南市立田井小学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4	総合	深野神楽の秘密	深野神楽保存会 ケアポートよしだ
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統文化「深野神楽」のすばらしさを知り、関心をもつ。</li> <li>・学習を通して、ふるさとの良さに気づくことができる。</li> </ul>		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分たちの住んでいる地域に伝わる深野神楽について、道具見学や体験を通し、気づいたことや興味をもったことを話し合う。</li> <li>② 深野神楽の歴史について聞く。</li> <li>③ 実際に深野神楽の舞を鑑賞する。</li> <li>④ 見学や体験、鑑賞等を通して得た気づきを共有し、さらにしてみたいことを話し合う。</li> <li>⑤ 講師の方と共に深野神楽の舞を練習する。</li> <li>⑥ 練習の中で所作や心構えなど、古くから伝わる伝統や文化へのかかわり方を教わる。</li> <li>⑦ 福祉学習でかかわったケアポートよしだ（高齢者福祉施設）の利用者に向けて、神楽を披露する。</li> <li>⑧ 学び練習した神楽を学習発表会で発表する。</li> </ol> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>深野神楽の学習をすることで、深野神楽への愛着や誇りをもつこと、そして、自分たちができることを考え行動していくことができるよう、以下の点を意識し学習を計画した。</p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の伝統や文化との関わり <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に神楽の道具が保存してある場所へ出かけ、見学や体験することでさらに興味や関心をもてるようにした。また、実際に体験することで、「自分もできそう」や「やってみたい」という気持ちが高まるようにした。</li> </ul> </li> <li>② 講師や地域施設との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・深野神楽保存会の皆さんにお世話になり、お話を聞いたり一緒に活動したりすることで、深野神楽を愛する思いや伝統や文化を大切にする心などに触れることができるようにした。</li> <li>・福祉学習で交流のあったケアポートよしだで神楽を披露することで、神楽を通じた利用者との交流ができるようにした。</li> </ul> </li> </ol> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 興味関心に基づいた学習の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通して感じたことを共有し、自分たちの思いをもとに舞うことを決め、交流のあったケアポートよしだの利用者にも見てもらうこととした。</li> </ul> </li> <li>② 自己の課題分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の前には自分のめあてを立て、練習後には振り返った。自己の課題を分析し、解決するための手段や方法を考えて取り組むことで、よりよい舞を目指した活動となった。</li> </ul> </li> </ol> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>  <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深野神楽を通して地域の伝統や文化にふれ、深野神楽保存会の方の工夫や努力を知り、地域の</li> </ul>			

- 伝統や文化の素晴らしさを感じるとともに、これからも残していきたいという心情が育った。
- ・ 日常の遊びの中でも神楽遊びをするなど、関心の高まりを感じられた。

(学力育成の視点から)

- ・ 見学や体験を通して深野神楽に興味をもち、学校や地域で披露したいという思いをもとに舞うことに決めた。よりよい舞を目指して自己の課題を分析し、解決のため講師さんに教わったり友達と協力したりした。

※取り組みの様子



学校名	雲南市立掛合小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活科	掛合町たんけん	交流センター・掛合分校・郵便局・田部竹下酒造・掛合建具センター・白石畳店・交番・掛合保育所・ひだまり館
ねらい		地域の様々な場所を見学したり交流したりする活動を通して、地域の人やものの良さを見つけることができる。	

### 1 取組の概要

- (1) 地域の「行ってみたいところ」を話し合う。
- (2) 実際にその場所に出かけ、「もの・こと」について、詳しい方に直接お話を聞いたり、体験したりする。
- (3) 見学から分かったことや地域の方の思いをまとめる。
- (4) 地域の方に学んだことや感謝の気持ちを手紙で伝える。



地域の方の説明の様子（白石製畳）

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- その場所に行って、そこに関わる「ひと」から話を聞いたり交流したりすることで、地域の「もの」や「こと」への興味や関心を高めるようにした。

(学力育成の視点から)

- 見学へ行って終わりではなく、分かったことを文章や絵でまとめたり、地域の方への感謝の気持ちを手紙で伝えたりした。

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 地域の方へあいさつを進んでする姿がみられ、ふるさとへの愛着が生まれた。

(学力育成の視点から)

- 自分たちで知りたいことを話し合ったり、学習したことをクラスの友だちと伝え合うなど、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。

学校名	雲南市立大東中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合	雲南市探究学習	地域住民 市役所職員 雲南市観光協会職員
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市の自然・文化・伝統などについて知識を深め、調べたことを地域に発信する。</li> <li>・雲南市の良さを発見し、ふるさとを誇りに思い愛する心を育てる。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>① 雲南市クイズにより、雲南市の「ひと」「もの」「こと」に興味を持つ。</p> <p>② 雲南市の「ひと」「もの」「こと」からテーマを選び、課題を設定し、図書やパンフレット、インターネットなどを使って調べる。</p> <p>③ 地域講師に直接話を聞いたり質問したりしてさらに詳しく学ぶ。</p> <p>④ 集めた情報を整理して、雲南市の「ひと」「もの」「こと」を紹介する発表資料を各自で作成し校内外の人にふるさとの良さを発信する。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自が設定したテーマについて、豊富な知識を持っている人や熱意を持って伝統を守っている人の話を聞き、地域の素晴らしさに誇りを持つとともに、地域の宝を守っていこうとする意識や態度を育てる。</li> <li>○ 地域の良さを守り、伝え、発展させていくために、自分たちにできることを考えて提案する。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域講師を迎えて直接話を聞いたり、資料を調べる過程で疑問に思ったことに答えてもらったりする中で、課題解決のための手がかりを掴む。</li> <li>○ 探究学習を進める手順を学ぶとともに、情報の集め方や記録の仕方、情報を整理してまとめる力など、情報活用能力を身につける。</li> <li>○ 相手を意識してわかりやすく伝える、表現力を身につける。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統を守り引き継いでいくことの難しさと喜びを感じることができた。</li> <li>○ これまで、あまり知らなかった雲南市の「ひと」「もの」「こと」について学び、その価値や意義について考えるとともに、ふるさとの文化や歴史、自然を守るための地域の人々の努力を知り、自分たちに何ができるかを考えることができた。</li> <li>○ 雲南市には、自分たちがまだ知らない地域の良さがたくさんあることが分かり、雲南市を誇りに思う気持ちが強くなった。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集めた情報だけでなく、学習を通して学んだことや気づいたことなどをもとに各自が学習用P Cを活用して発表資料にまとめ、学級発表会と全体へのレポート掲示形式での情報発信を行った。</li> <li>○ 図書館司書の協力を得て、探究学習の手引きをもとに情報の収集・整理の仕方・まとめ方・プレゼンの作成・手法について学んだ。</li> </ul>			



学校名	<b>雲南市立加茂中学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	雲南市探訪	雲南市内の様々な施設・寺社・自然・歴史・文化等
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市の歴史、自然、文化等に触れ、郷土についての理解を深める。</li> <li>・地域の方々との交流を通して、多様な考え方に気づく。</li> <li>・自分たちで計画し、実践することにより、自主的に活動に取り組み、友だちと協力して行動する力を高める。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大東コース」、「木次コース」、「吉田コース」、「三刀屋・掛合コース」の4つに分かれる。</li> <li>・グループで探訪の計画を立て、事前学習を行う。</li> <li>・現地の見学では、現場の方の話を聞いたり、インタビューしたりする。</li> <li>・探訪でお世話になった方に礼状を書く</li> <li>・探訪学習で学んだことをまとめ、互いに発表しあう。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雲南市の様々な場所を訪れ、ふるさとの魅力を再発見し、実感する機会をつくり、地元への愛着と誇りを育てる。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市探訪で分かったことをパワーポイントでまとめ、互いに発表しあう活動において、情報を分かりやすく整理し、人に伝える力を養う。</li> <li>・職場訪問を通して、働くことの意義・働く人々の喜びや苦勞、職場の様子などを知り、将来に向けて、社会の一員として働くことを意識させるとともに、進路選択へつなげていく。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市探訪を終えた後の生徒の感想等から、地元雲南市には様々な魅力があることを発見するとともに、貴重な体験や学びができ、愛着や誇りが持てたという記述が多く見られた。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市探訪で学んだことの「まとめ」では、情報を整理し、見る人に分かりやすく、視覚的に工夫されているものが見られた。</li> </ul>			

学校名	雲南市立木次中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	地域（ふるさと）探訪	(ひと) 地域コーディネーター、地域ボランティア、見学施設の職員 (こと) 見学施設
ねらい		雲南市内の各方面の専門家から、直接話を聞いたり、施設を見学したりすることで、雲南市についての知識を深め、雲南市の魅力の再発見や地域貢献の気持ちにつなげる。	

**1 取組の概要**

「雲南市のことを知る、考える」

- (1)映画『うん、何?』の鑑賞をきっかけとし、地域学習を進める足がかりとする。
- (2)映画に描かれている雲南地区の歴史、文化等を取り上げ、地域・社会に目を向ける。
- (3)地域探訪を<産業コース><歴史コース><おろちコース><たたらコース>の4グループ（各24名程度）に分け、訪問する。
- (4)直接専門家から話を聞いたり、施設を見学したりする。
- (5)各自で訪問結果をまとめ、文化発表会で展示発表する。

**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- ・生徒が親しんできた「雲南市」を学習の対象として、地域の方や施設の方と関わることで、興味や関心を持ち、学習に取り組むことをねらう。
- ・地域の魅力を自分たちの目で再発見したり、考察したりすることで、地域への愛着を深める。
- ・地域への愛着や良さの発見だけでなく、雲南市が持つ地域課題について考えるきっかけとする。  
→2年次の「雲南市の未来を考える」へつなげる。

**(学力育成の視点から)**

- ・自身を育むうえで切り離せない「ふるさと雲南」にある歴史や文化、それらを守る人々の思いに触れることにより、自ら課題を発見し、主体的に解決していこうとする資質・能力を育てる。
- ・地域の良いところや誇れる魅力を知り考察することにより、地域への愛着を育む。
- ・地域の方たちとの対話を通じた学習により、課題解決へのヒントを受け取り、自主的な学びへの意欲を高める。

**3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- ・地域の方たちのお話、施設の見学を通して育まれた興味や疑問について、グループで対話を深めることで「課題解決」の方法を身につけるとともに、ふるさとのために進んで課題解決に取り組もうとする意識が芽生えた。

**(学力育成の視点から)**

- ・グループ活動や友だちの発表などを通じて、ほかの生徒の視点や考え方を学び、自己のまとめに活かすことができた。

<龍頭が滝>



<菅谷たたら山内>



<神原古墳>



学校名	<b>雲南市立三刀屋中学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	三中ハッピープロジェクト ～地域の幸せのために自分たちが できること～	まちづくり協議会や地域の職場の方 々
<b>ねらい</b>		地域の身近な課題について、地域の方の助言を得ながら、学級の仲間との協働によって貢献策を考え実践することを通して、地域に貢献する意義を理解するとともに自らも地域の一員として積極的に地域社会に参画しようという態度を身につける。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域の課題を考え、各グループで取り組む課題を決定する。</li> <li>2) 地域貢献活動の内容を考える。</li> <li>3) 地域アドバイザーの方の助言を受けながら、自分たちの貢献策を練り上げる。</li> <li>4) 地域貢献活動を実践する。</li> <li>5) 地域貢献策について、個人・グループで自分たちの学びを振り返る。</li> </ol> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ふるさとのために自分たちができることを具体的に考え実践する場の設定 これまで様々な形で学びを提供していただいた地域に対して、実際に自分たちが行動し地域の方々に喜んでもらう体験を通して地域社会に積極的に参画しようという態度を育てる。</li> <li>2) 地域貢献活動について地域の方との協働を行う場の設定 地域のために尽力されている方々との協働を通して、地域のよさを守る工夫や努力を実感し、地域への貢献意欲を高めることができるようにする。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域貢献活動を通して、協働性の向上を目指す。 地域貢献活動を進める過程において、地域アドバイザーや学級の仲間たちとの協働的な学びを通して、個人および集団の考えを深めていく力を高めるようにする。</li> <li>2) 地域貢献活動を通して、課題対応能力を高める。 地域貢献活動を進める上で必要な情報を収集するとともに見通しをもって計画を立て、実施に向け調整をしていく力を高めるようにする。</li> <li>3) 地域貢献活動を通して、表現力を高める。 地域貢献活動を進める過程において、地域の方の助言をもらったり学級の仲間たちとの対話を繰り返したりすることで、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができるようにする。</li> </ol> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域貢献活動を通して、改めて地域のよさや課題に気づき、自分たちが地域に貢献する意義を知り、地域社会に積極的に参画していこうという生徒が増えた。</li> <li>2) 自分たちの活動が地域の多くの方々の協力があってこそ実現できたことを実感し、自分たちも継続して地域に貢献していこうという意欲が感じられるようになった。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域の方との対話や仲間との協働の機会を通して、よりよい考えを目指し深める力がついたという生徒が多くいた。</li> <li>2) 「自分たちが考えた事を実践につなげる」という課題を設定したことが動機づけとなり、主体的に行動する姿が多く見られた</li> </ol>			



学校名	<b>雲南市立吉田中学校</b>		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
全学年	総合的な学習	吉田の芸能を体験しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人(子ども神楽の小田和子さん、晴木邦幸さん、火焰太鼓の古居哲夫さん、影山和美さん)</li> <li>・舞手の衣装、楽器(深野神楽)や和太鼓(火焰太鼓)</li> <li>・地域の方に教えてもらって、神楽を舞ったり、火焰太鼓を演奏したりした。</li> </ul>
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりが課題を見つけ、方法を工夫しながら、その課題を追究し、解決していく。</li> <li>○地域の「ひと」・地域にある「もの」・地域にはぐくまれた「こと」と関わりながら、ふるさと「吉田」をあらためて知り、ふるさとの愛着と誇りを持つ。</li> <li>○地域の活動から学び、考えたことを発表し、感謝の気持ちや地域のために貢献しようとする思いを持つ。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設講座名 ①火焰太鼓 ②深野神楽</li> <li>・班編制 受講希望調査の結果により、全校生徒の縦割り班とした。 ① 火焰太鼓 16名(1年6名、2年2名、3年8名) ② 深野神楽 3名(2年2名、3年1名)</li> <li>・活動時間 2時間×5回(全10時間) 文化祭のリハーサルと本番での発表</li> <li>・活動内容 ①火焰太鼓 吉田地区の和太鼓を練習し、文化祭で発表した。 吉田の方が作曲された「清流」を演奏した。 ②深野神楽 田井地区の深野神楽を練習し、文化祭で発表した。 今年度は演目「陰陽」を演舞した。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ふるさと「吉田」をあらためて知るために、伝統芸能である「深野神楽」や「火焰太鼓」の練習に取り組んだ。</li> <li>2) 地域貢献への意欲を高めるために、練習した「深野神楽」や「火焰太鼓」を文化祭で地域の方や家族に向けて発表した。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) よりよい発表に向けて、伝統文化に携わる地域講師の指導を生かして課題設定や振り返りを行った。</li> <li>2) 相手意識・目的意識をもった表現力の向上に向けて、文化祭での発表の場を設けた。</li> </ol> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 10時間の練習を通して地域の伝統文化について理解を深め、ふるさと「吉田」への愛着や誇りを高めることができた。</li> <li>2) 文化祭での発表では保護者や地域の人からの高評価を受け、伝統文化を引き継いでいくことの大切さを実感し、地域貢献への意欲を高めることができた。</li> <li>3) 地域の講師から学ぶことによって、自分のふるさとは素晴らしい方々がいることに誇りを持ち、また感謝の気持ちをもつことができた。</li> </ol> <p>(学力育成の視点から)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 文化祭でのよりよい発表に向けて地域講師の指導を生かして、伝統文化の所作や技術を磨くことができた。</li> <li>2) 文化祭ではそれぞれの講座とも自信をもって自分達の練習の成果を発表することができ、表現力の向上につながった。</li> </ol>			



学校名	雲南市立掛合中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合	町おこしイベント 「つながる掛合の輪!! ～地元 に伝える“だんだんね”!～」	・雲南市スペシャルチャレンジ事業の活用 ・掛合交流センター ・商品販売[大東親木遊木倶楽部、多根ふれ藍工房、景山薫、道の駅湯の川、カウベル、舟木木工所、ひかわ食品加工] 他 18団体
ねらい		○持続可能な町づくりには、地域の課題や魅力の生かし方が深く関わっていることを理解し、これまでの探究学習を活かした町おこしイベントの企画を大人目線で考え、実施する。	

### 1 取組の概要

- ①町おこしイベント実現のための活動資金を得るため、雲南市主催の「スペシャルチャレンジ事業」ジュニア部門に応募し、1,2年時の学習を踏まえ、町おこしイベントの事業計画書を作成し、提出するとともに、審査会においてプレゼン発表を行う。
- ②①で得た資金をもとに、木工製品や藍染製品の製作等、イベント開催に向けた準備を行う。
- ③4つの係（販売促進係、商品販売係、祭り係、ステージ進行係）を設け、町おこしイベントを実施する。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 地域内・地域外の「ひと・もの・こと」を活かした町おこしイベントの企画を考え、実施する。  
1,2年時で出会った地域内・地域外の「ひと・もの・こと」を活かした町おこしイベントを企画・運営することで、改めて今までの学習や、地元の良さや課題、地域活性化のために活動する人々の工夫や思いを見つめ直す機会とした。

#### (学力育成の視点から)

- 1,2年時の学習を踏まえた、「スペシャルチャレンジ事業」ジュニア部門の事業計画書を作成し、審査会でプレゼン発表をする。  
町おこしイベントの目的や具体的な内容、必要経費やアピールポイント等を、今までの学習とのつながりを意識しながら、生徒たち自身で考え、作成するようにした。また、プレゼン発表の資料も生徒たち自身で工夫しながら作成したことによって、町おこしイベントの意義についての思いを深めさせるとともに、審査員の方に自分たちの考えを分かりやすく伝えることができるようにした。

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 町おこしイベント後の生徒の振り返りには、「今後も町おこしについて熱心に学習していき、地域を興すために何が必要なかを考え続けていきます。」「町おこしイベントを含めた3年間の探究活動をとおして、今まで知らなかった町の魅力を知ることができた。」といった内容のものが多くあり、生徒たちは地域貢献への意欲を高めていることが分かった。

#### (学力育成の視点から)

- 町おこしイベント後の生徒の振り返りには、「つなげて考える力や先を見通す力を付けることができた。」「試行錯誤し、努力する力を身に付けることができた。」「分かりやすい資料を作成する能力、課題発見・解決能力、プレゼン能力などのたくさんの力を身に付けることができた。」とあり、こちらが想定していたよりもたくさんの力がついたと生徒が実感していることが分かった。振り返りを書く際、誰もがペンを止めず集中して書いていたところからも、実際に自分たちが計画を立て、町内外の地域の方たちを巻き込んで実施した町おこしイベントが、生徒の成長に大きな影響を与えていることを実感した。



表紙

左上 吉田小学校 右上 加茂小学校  
左下 三刀屋中学校 右下 掛合中学校

『令和6年度

雲南市 特色あるふるさと教育事例集』

雲南市教育委員会キャリア教育政策課

TEL 0854-40-1074